



VivoPC VC60 Series

ユーザーマニュアル

J8609

初版

2013年9月

COPYRIGHTについて

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証も行いません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害（利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、内容は予告なしに変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容についてASUSは責任を負いません。

Copyright © 2013 ASUSTeK Computer, Inc. All Rights Reserved.

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作為または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

- (1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
- (2) ユーザーの個人情報やデータの損失
- (3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

マルチ言語サポートサイトを開設しました。下のリンクで画面右上の「Global/English」を「Japan/日本語」に選択してください。

<http://support.asus.com>

もくじ

このマニュアルについて	5
このマニュアルの表記について	5
表記	5
パッケージの内容	6

製品の概要

各部の名称と機能	8
前面	8
左側	9
背面	10

VivoPCを使用する

使用の手引き	14
ACアダプターを本機に接続する	14
ディスプレイパネルを接続する	16
USBキーボード/マウスを接続する	18
電源をONにする	19

Windows® 8の使用

初めて起動する	22
Windows® UIを使用する	23
スタート画面	23
Windows® アプリ	23
ホットスポット	24
Windows® アプリと一緒に使用する	26
チャームバー	28
チャームバーのコンテンツ	29
スナップ機能	30
その他キーボードのショートカット	31
本機の電源をOFFする	32
PCをスリープ状態にする	32
UEFI BIOS Utilityを起動する	33
UEFI BIOSへのクイックアクセス	34

インターネットへの接続

有線接続	36
DSL/ケーブルモデム経由での接続	36
ローカルエリアネットワーク (LAN) 経由の接続	37
ワイヤレス接続	42

VivoPCをマウント設置する

VivoPCをVESAマウント対応デバイスに取り付ける	46
-----------------------------------	----

トラブルシューティング

システムをリカバリーする	50
PCのリフレッシュ	50
PCのリセット	51
システムイメージファイルからのリカバリー	54

付録

安全上の注意	58
システムをセットアップする	58
使用中のお手入れ	58
ご注意	60
ASUSコンタクトインフォメーション	66

このマニュアルについて

このマニュアルには本機のハードウェアとソフトウェアについての説明が記載されており、以下のChapterから構成されています。

Chapter 1: VivoPCの概要

本機のハードウェアとコンポーネントについての説明が記載されています。

Chapter 2: VivoPCを使用する

本機の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 3: Windows®8の使用

Windows®8の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 4: インターネットへの接続

インターネットへの接続方法の説明が記載されています。

Chapter 5: VivoPCをマウント設置する

VESAマウント対応デバイスに本機をマウント設置する方法についての説明が記載されています。

Chapter 6: トラブルシューティング

トラブル発生時にOSを出荷状態に戻す内容が記載されています。

付録

製品の規格や海外の法令についての説明が記載されています。

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱いいただくため、以下の表記をご参照ください。

重要: 作業を完了するために従わなければならない指示です。

注: 作業を完了するためのヒント等の追加情報です。

警告: 作業を完了する際、人体への危険を避けるため、また本機のコンポーネントへの損害、本機内のデータの消失を避けるために、必ず従わなければならない指示です。

表記

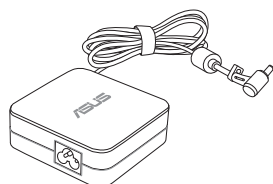
太字 選択するメニューや項目を表示します。

パッケージの内容

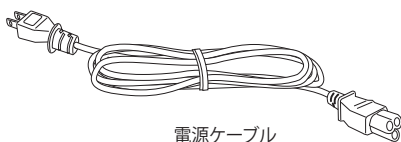
製品パッケージに以下のものが揃っていることをご確認ください。



VivoPC VC60 Series



ACアダプター



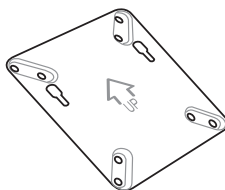
電源ケーブル



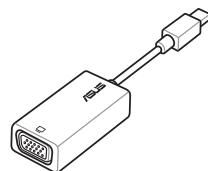
VESAマウントプレート用
8mm ネジ×4



取扱説明書



VESAマウントプレート



mini DisplayPort- VGAアダプター*



12mmネジ×2



VESAマウントプレート用
ラバーヘッド×4

注:

- 実際の製品仕様や地域によって実際製品と形状が異なることがあります。
- 本体、キーボード、マウスは通常のご使用条件で使用し不具合が発生した場合、保証期間内であれば無料で修理・交換致します(その他付属品・ディスク等は保証適用外です)。なお、保証を受けるには保証書をASUSのコールセンターまでご送付いただく必要があります。初期不良については購入後1ヶ月間となります。
- *国や地域、モデルにより、パッケージの内容が異なる場合があります。

製品の概要

1

各部の名称と機能

前面

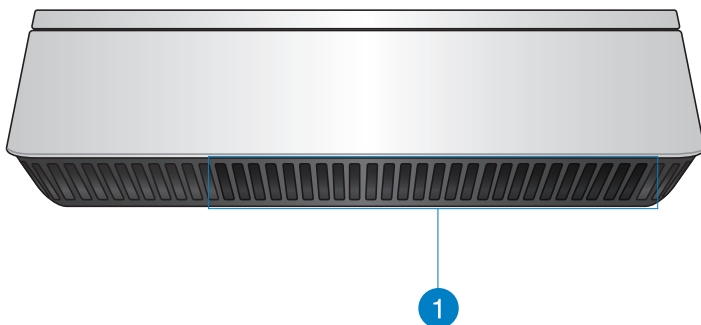


1

ドライブアクティビティインジケータ

本機が内部記憶装置にアクセスしているときに点灯します。

左側



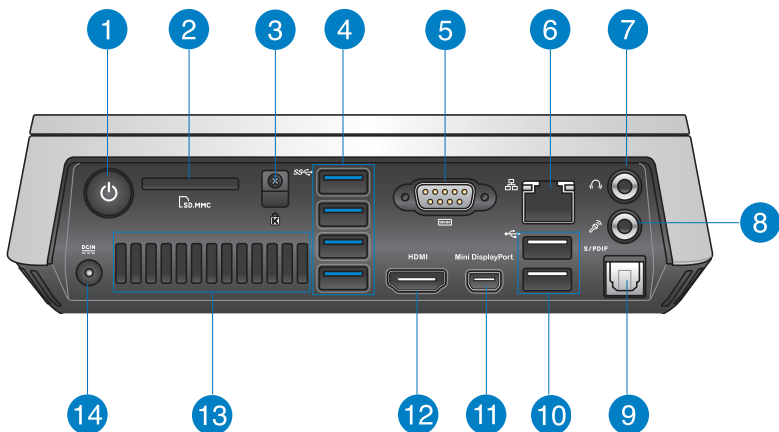
1





通気孔

通気孔により本体から熱を逃がします。

重要: 通気口からは高温の空気が排気されます。故障や事故の原因となりますので、人体、紙、本、衣類、ケーブルなどを密接し塞がないようにしてください。

背面



- 1**  **電源ボタン**
本機の電源のON/OFFを切り替えます。設定により本機をスリープ状態にすることもできます。
- 2**  **メモリーカードスロット**
内蔵のカードスロットはMMC/SDカードをサポートしています。
- 3**  **Kensington® セキュリティスロット**
Kensington® 互換セキュリティ製品と併用して、本機を固定することができます。
- 4**  **USB 3.0ポート**
5Gbit/sのデータ転送速度を提供し、USB2.0との下位互換性があります。

- 5  **シリアル (COM) コネクター**
この9ピンコネクターには、マウスやモデム、プリンター等のシリアルデバイスを接続します。
- 6  **LANポート**
8ピンRJ-45LANポートは標準イーサネットケーブルに対応し、LANに接続することができます。
- 7  **ヘッドホン/オーディオ出力ジャック**
本機のオーディオ出力信号をアンプやヘッドホンに接続します。
- 8  **マイクジャック**
マイクを接続します。ビデオ会議や音声ナレーション、録音等にご使用いただけます。
- 9  **光デジタル(S/PDIF出力ポート)**
光デジタルS/PDIFケーブルで外部オーディオ出力デバイスを接続します。
- 10  **USB 2.0ポート**
USB 2.0対応のキーボードやマウス、フラッシュドライブ、外付けHDD、スピーカー、カメラ、プリンター等のデバイスを接続することができます。このポートを使用すれば、複数のデバイスを1つのシステムで同時に利用することができます。
- 11 **Mini DisplayPort**
DisplayPort対応ディスプレイまたはVGA外付けディスプレイを接続します。
- 12  **HDMI ポート**
液晶TVやディスプレイやフルHDデバイスをサポートしています。より高画質で大きな画面での映像が楽しめます。

13

バックパネル通気孔

通気孔により本体から熱を逃がします。

重要: 通気のため、設置の際は本機を壁などから最低10cm 離してください。

14

DCIN
≡≡≡

電源入力 (DC19V)

付属のACアダプターを接続し、本機に電源を供給します。付属のACアダプター以外は使用しないでください。故障の原因となります。

警告: ACアダプターは、使用中高温となることがあります。アダプターを物で覆ったり、また身体に密着させて使用しないでください。

VivoPCを使用する

2

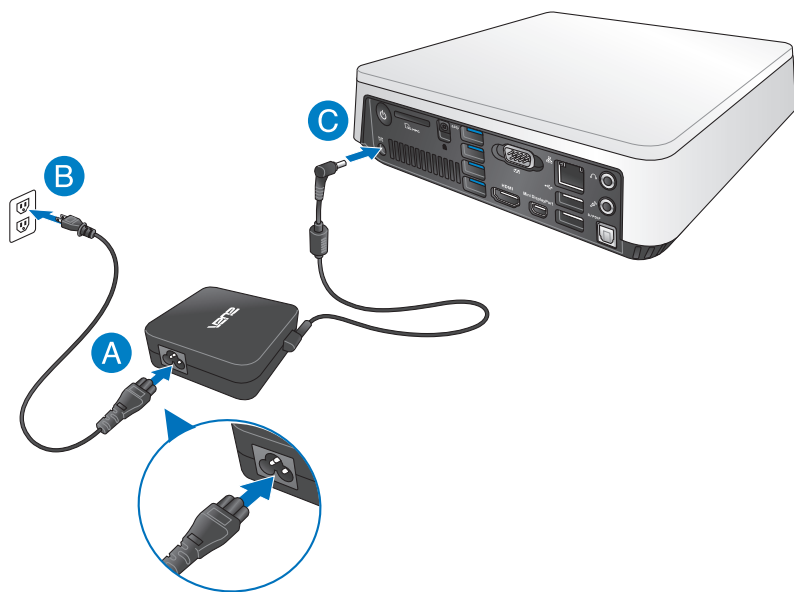
使用の手引き

ACアダプターを本機に接続する

手順

- A. ACアダプターのコードをACアダプターに接続します。
- B. 電源コードを100V~240Vの電源に接続します。
- C. 電源コネクターを本機の電源入力ポートに接続します。

注: 国や地域、モデルにより、電源アダプターの外観は異なります。



重要:

- 本製品付属のACアダプター以外で本機に電力を供給しないでください。また、付属のACアダプターと電源コードを他の製品に使用しないでください。故障の原因となります。
- 本機の使用する際は、本機が接地された電源コンセントに接続されていることをご確認ください。
- 本機を電源アダプターに接続しているときは、電源コンセントや電源タップの近くでご使用ください。
- 主電源から本機を切断するには、電源コンセントから本機を切断してください。

注:**ACアダプターについて**

- 入力電圧: 100-240Vac
 - 入力周波数: 50-60Hz
 - 定格出力電流: 3.42A (65W)
 - 定格出力電圧: 19V
-

ディスプレイパネルを接続する

本機にディスプレイパネルまたはプロジェクターを接続することができます。サポートしている接続タイプは次のとおりです。

- HDMIコネクタ
- Mini DisplayPort
- VGAコネクタ (mini DisplayPort-VGAアダプターと併用)
- DVIコネクタ (HDMI-DVIアダプター、またはVGA-DVIアダプターと併用)

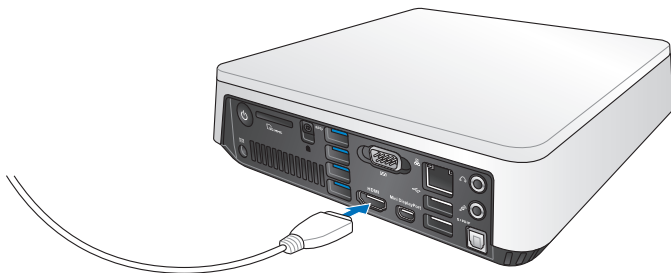
注:

- HDMI-DVIアダプター、VGA-DVIアダプターは別途お買い求めください。
 - モデルによっては、mini DisplayPort-VGAアダプターが同梱されていない場合もあります。
-

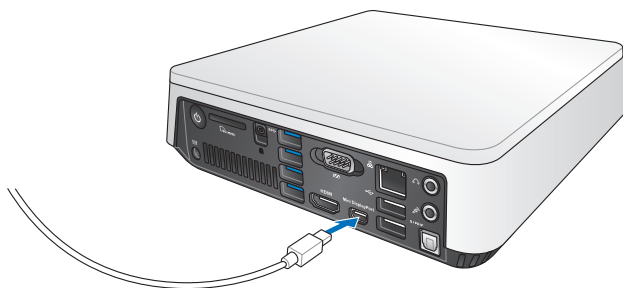
手順

HDMIポートまたはmini DisplayPortにディスプレイケーブルを接続します。

HDMIポートにディスプレイを接続



mini DisplayPortにディスプレイを接続



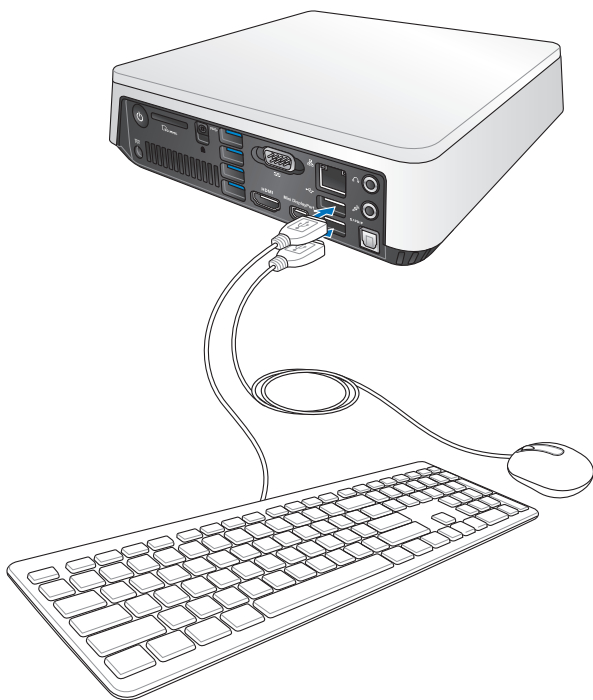
USBキーボード/マウスを接続する

本機にUSBキーボード/マウスを接続することができます。また、ワイヤレスキーボード/マウス用のUSB dongleを接続することもできます。

手順

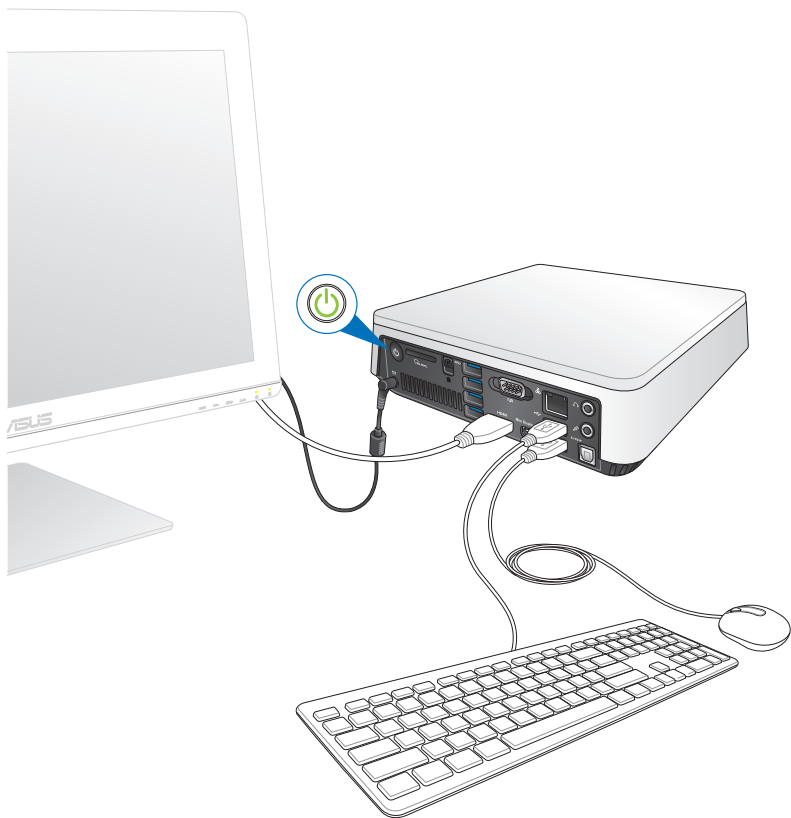
USBキーボード/マウスのケーブルを本機のUSB 2.0ポートに接続します。

USB 2.0ポートにキーボードまたはマウスを接続



電源をONにする

電源ボタンを押し、電源をONにします。



Windows® 8の使用

3

初めて起動する

コンピューターを初めて起動すると、Windows® 8 OSの基本設定を行う画面が表示されますので、画面の指示に従って設定を行います。

手順

1. コンピューターの電源をONにします。暫くすると設定画面が表示されます。
2. ライセンス条項を読みます。「**Windows を使うためのライセンス条項に同意します**」にチェックを入れ、「**同意する**」をクリックします。
3. 画面上の指示に従って基本設定を行います。
 - パーソナル設定
 - 設定
4. 基本設定が完了すると、Windows®8のビデオチュートリアルが表示されます。チュートリアルではWindows®の機能を学ぶことができます。

注: Windows® 8の詳細は次のセクションをご参照ください。

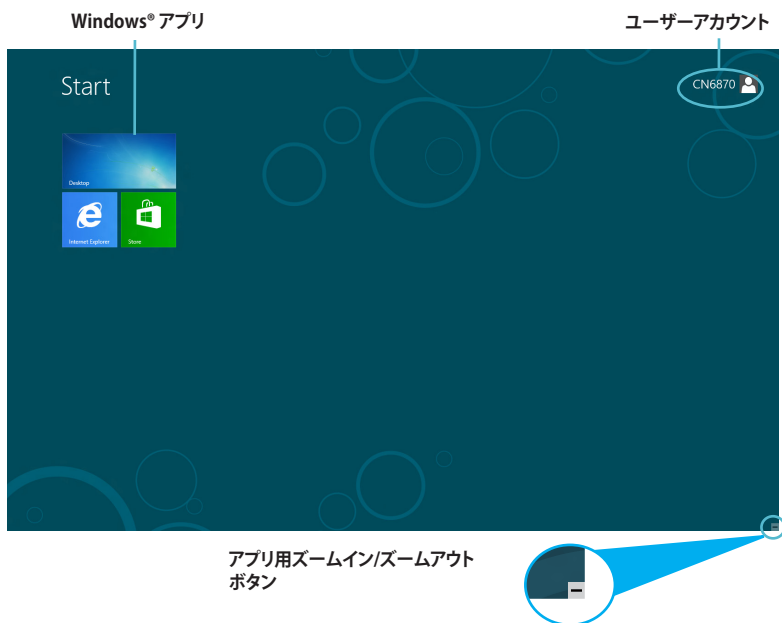
Windows® UIを使用する

Windows® 8のWindows® ユーザーインターフェース (UI) はタイル表示のユーザーインターフェースです。次の各機能を利用することができます。

スタート画面

ユーザーアカウントにサインすると、スタート画面が表示されます。使用したいプログラムを一括表示することができます。

Windows® キー  でも任意のアプリからスタート画面を起動することができます。



Windows® アプリ

アプリはスタート画面にピン留めされており、タイル形式で表示されます。

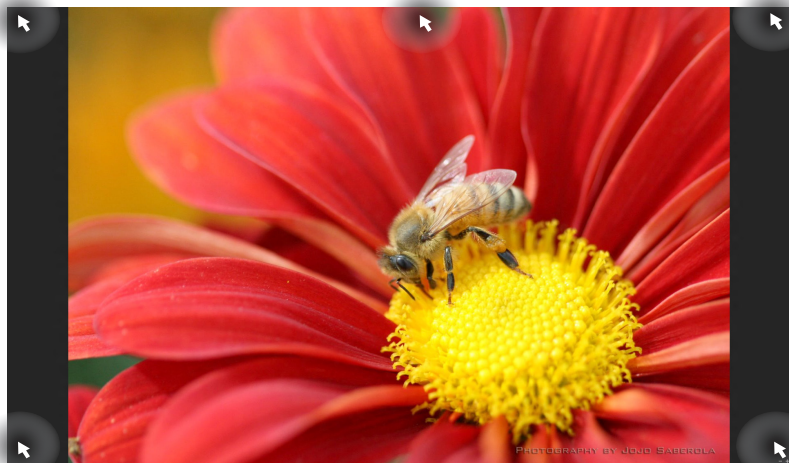
注: Windows®アプリの利用には画面解像度1024×768ピクセル以上が必要です。

注: 特定のアプリはその機能を十分活用するため、Microsoftアカウントでのサインインが必要になる場合があります。

ホットスポット

プログラムの起動、デスクトップPCの各種設定を行います。各機能はマウスで有効にすることができます。

起動済みアプリのホットスポット



画面上のホットスポット



注: 詳細は次項の「ホットスポットの機能」をご参照ください。

左上

マウスのポインターをこの位置まで移動し、最近使用したアプリのサムネイルをクリックすると、そのアプリが表示されます。

複数のアプリを起動した状態で、下方向にスライドすると、起動しているアプリが表示されます。

左下

起動中のアプリから:

マウスのポインターをこの位置まで移動し、スタート画面のサムネイルをクリックすると、スタート画面に戻ります。

キーボード上のWindows®キー  を押ししてもスタート画面に戻ります。

スタート画面から:

マウスのポインターをこの位置まで移動し、最近使用したアプリのサムネイルをクリックすると、そのアプリが表示されます。

上面

マウスのポインターを手のアイコンに切り替わるまで移動します。アプリをドラッグ&ドロップし、別の場所へ移動することができます。

「注:」このホットスポット機能は起動中のアプリ、またはスナップ機能を使用する場合にのみ動作します。詳細は「Windows®アプリと一緒に使用する」の「スナップ機能」をご参照ください。

右上、右下

右上、右下マウスのポインターをこの位置まで移動すると、チャームバーが起動します。

Windows®アプリと一緒に使用する

本機のキーボードまたはマウスでアプリの起動やカスタマイズ設定が行えます。

アプリの起動

- アプリの上にマウスのポインターを当て、左クリックして起動します。
- <Tab>を2回押し、カーソルキーでアプリを選択します。<Enter>を押し選択したアプリを起動します。

アプリのカスタマイズ

スタート画面上でアプリの移動、サイズ変更、ピンの解除を行うことができます。次の手順で行います。

アプリを移動するには、アプリタイトルをドラッグしたまま移動先までドラッグします。

アプリのサイズ変更

アプリ上で右クリックし、設定メニューを表示し、「小さくする」をクリックします。

ピン留めの解除

スタート画面のアプリのピンを解除するには、アプリ上で右クリックし、設定メニューを表示し、「スタート画面からピン留めを外す」をクリックします。


アプリを閉じる

- 起動したアプリの上側にマウスのポインターを当て、ポインターが手のアイコンになるまで待ちます。
- アプリを画面下までドラッグ&ドロップし、アプリを終了します。
- 起動中のアプリの画面から <Alt> + <F4>を押します。

アプリ画面にアクセスする

アプリ画面からアプリの設定が可能です。また、スタート画面やデスクトップのタスクバーへアプリを追加することができます。

アプリ画面を起動する

スタート画面上を右クリック、または  + <Z> を押し、すべてのアプリアイコンをクリックします。

スタート画面へのアプリの追加

1. アプリ画面を起動します。
2. アプリ画面から、アプリ右クリックし、設定バーを表示します。
3. 設定バーから「**スタート画面にピン留めする**」をクリックします。

チャームバー

チャームバーは画面右側に表示されるツールバーです。アプリケーションの共有などの操作や本機のカスタマイズ設定へ簡単にアクセスできます。




チャームバー

チャームバーの起動

注: チャームバーは起動すると、上の画面のように表示されます。

本機のキーボードまたはマウスでチャームバーを起動します。

- マウスのポインターを画面右上または右下に移動します。
-  + <C>を押します。

チャームバーのコンテンツ



検索

本機内のファイルやアプリケーション、プログラムを検索します。



検索

ソーシャルネットワークサービス (SNS) やメールなどを使用し、アプリケーションを共有します。



スタート

画面をスタート画面に戻します。スタート画面から使用していたアプリに戻ることもできます。



デバイス

外付けモニターやプリンター等、本機に接続したデバイスに関する操作を行います。



設定

本機の各種設定を行います。

スナップ機能

ノートパソコン上で2つのアプリケーションを同時に操作することができます。この機能を有効にすると、スナップした際にサイドバーが表示され、ディスプレイを2分割します。

注: スナップ機能の利用には画面解像度1366×768ピクセル以上が必要です。



スナップを有効にする

スナップバー

1. 本機のキーボードまたはマウスでスナップ画面を有効にします。
マウスの使用
















- a) アプリをクリックし起動します。
- B) マウスのポインターを画面の上側に移動します。
- c) ポインターが手のアイコンに切り替わったら、アプリをディスプレイパネルの左側/右側にドラッグ&ドロップします。






キーボードの使用

- アプリを起動し、**Win**+**(ピリオド)**>を押してスナップバーを起動します。1つ目のアプリは小さい方のエリアに自動的に表示されます。
2. 他のアプリを起動します。2つ目のアプリは大きい方のエリアに自動的に表示されます。
 3. アプリを切り替えるには**Win**+<J>を押します。

その他キーボードのショートカット

次のショートカットを使用し、アプリケーションの起動やWindows®8の操作が可能です。

	スタート画面と最後に使用した起動中アプリを切り替えます。
 + <D>	デスクトップを起動します。
 + <E>	デスクトップモードでコンピューターウィンドウを起動します。
 + <F>	ファイル検索画面を開きます。
 + <H>	共有画面を開きます。
 + <I>	設定画面を開きます。
 + <K>	デバイス画面を開きます。
 + <L>	ロック画面を有効にします。
 + <M>	Internet Explorerウィンドウを最小化します。
 + <P>	「セカンドスクリーン」画面を開きます。
 + <Q>	アプリ検索画面を開きます。
 + <R>	実行ウィンドウを開きます。
 + <U>	「コンピューターの簡単操作センター」を開きます。
 + <W>	設定検索画面を開きます。
 + <X>	Windows®ツールのメニューボックスを開きます。

 + <+>	虫眼鏡アイコンとズームイン画面を起動します。
 + <->	画面をズームアウト表示します。
 + <,/>	デスクトップを覗くことができます。
 + <Enter>	ナレーター設定を開きます。
 + <Prt Sc>	プリントスクリーン機能を有効にします。

本機の電源をOFFする

次のいずれかの方法で電源をOFFにします。

- チャームバーから「設定」→「電源」→「シャットダウン」をクリックします。
- ログイン画面から「電源」→「シャットダウン」をタップします。
- 本機からの応答がない場合は、電源ボタンを約4秒間押し、強制終了を行います。強制終了を行うと、アプリケーションで保存していないデータは失われる可能性があります。

PCをスリープ状態にする

電源ボタンを1度押します。

UEFI BIOS Utilityを起動する

UEFI BIOS Utilityはシステムの起動に必要なハードウェアを制御するプログラムです。

UEFI BIOSのデフォルト設定は通常の使用環境で、最適なパフォーマンスを実現できるように設定されています。以下の状況以外では、デフォルト設定のまま使用することをお勧めします。

- システム起動時にエラーメッセージが表示され、UEFI BIOS Utilityを起動するように指示があった場合。
- UEFI BIOSの設定を必要とするコンポーネントをシステムに取り付けた場合。

警告: 不適切な設定を行うと、システムが起動しない、または不安定になるといった症状が出る場合があります。設定を変更する際は、専門知識を持った技術者のアドバイスを受けることを強くお勧めします。

UEFI BIOSへのクイックアクセス

手順

- 電源ボタンを約4秒間押し電源をオフにします。電源ボタンを押して電源をオンにし、POSTの段階で<F2>またはを押します。

注: OS起動中に本操作の実施はお勧めできません。OSを起動した状態で操作する場合は、「Windows®8の標準機能を利用してUEFI BIOSの設定画面を開く」をご参照ください。

- システムの電源がオフの状態、本機から電源コードを抜きます。再び電源コードを本機に接続し、電源ボタンを押して電源をオンにし、POSTの段階で<F2>またはを押します。

注: POST (Power-On Self Test) はシステム起動時に実行されるシステム自己診断テストです。

Windows® 8の標準機能を利用してUEFI BIOSの設定画面を開く

- スタート画面上でチャームバーを起動し、「設定」→「PC設定の変更」の順にクリックします。
- 「全般」をクリックし、画面右側のメニューを一番下までスクロールします。
- 「PCの起動をカスタマイズする」の下にある「今すぐ再起動」をクリックします。
- 「お待ちください」のメッセージが出た後に「オプションの選択」画面が出現します。
- 「オプションの選択」で「トラブルシューティング」をクリックし、「詳細オプション」をクリックします。
- 「UEFIファームウェアの設定」をクリックし、次の画面で「再起動」をクリックします。
- 再起動をする際、画面に表示されるキーの操作なしにUEFI BIOSを開くことができます。

4

インターネットへの接続

有線接続

RJ-45ケーブル(LANケーブル)でコンピューターをDSL/ケーブルモデムまたはローカルエリアネットワーク(LAN)に接続します。

DSL/ケーブルモデム経由での接続

手順

1. DSL/ケーブルモデムをセットアップします。

注: セットアップに際しては、DSL/ケーブルモデムに付属のドキュメントを併せてご参照ください。

2. RJ-45ケーブル(LANケーブル)の一端をコンピューターのバックパネルのRJ-45ポート(LANポート)に接続し、もう一方をDSL/ケーブルモデムに接続します。
3. DSL/ケーブルモデムとコンピューターの電源をONにします。
4. 必要なインターネット接続の設定を行います。

注: インターネット接続のセットアップの詳細、技術サポートは、サービスプロバイダー(ISP)にご相談ください。

ローカルエリアネットワーク (LAN) 経由の接続

手順

1. RJ-45ケーブル (LANケーブル) の一端をコンピューターのフロントパネルのRJ-45ポート (LANポート) に接続し、もう一方をDSL/ケーブルモデムに接続します。
2. コンピューターの電源をONにします。
3. 必要なインターネット接続の設定を行います。

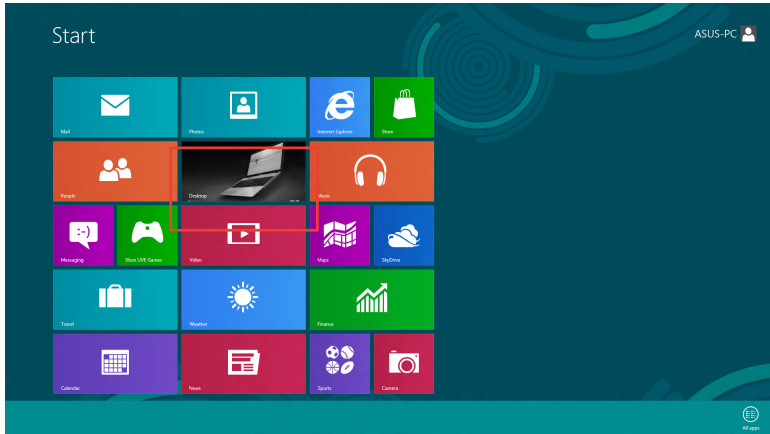
注:

- 詳細はセクション「**動的IP (ダイナミックIP) ネットワーク接続の設定**」または「**静的IP (スタティックIP) ネットワーク接続の設定**」をご参照ください。
 - インターネット接続のセットアップの詳細、技術サポートは、ネットワーク管理者にご相談ください。
-

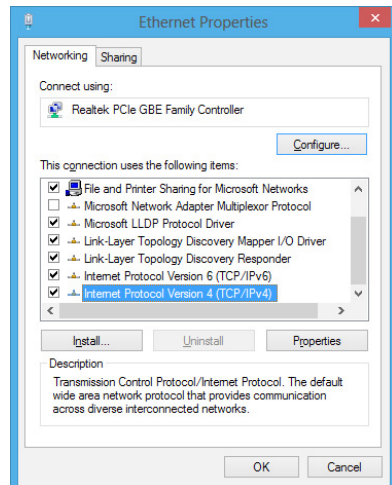
動的IP (ダイナミックIP) ネットワーク接続の設定

手順

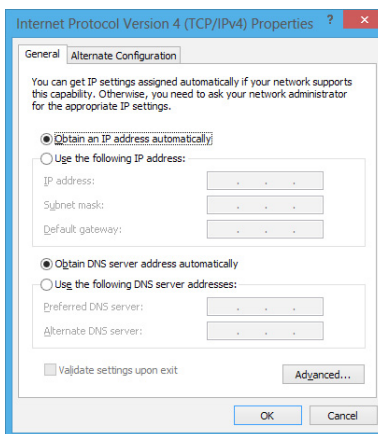
1. スタート画面から「**デスクトップ**」をクリックし、デスクトップモードを起動します。



2. タスクバーのネットワークアイコンを右クリックし、「**ネットワークと共有センターを開く**」をクリックします。
3. ネットワークと共有センター画面で「**アダプターの設定の変更**」をクリックします。
4. LANを右クリックし、「**プロパティ**」を選択します。
5. 「**インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)**」をクリックし、「**プロパティ**」をクリックします。

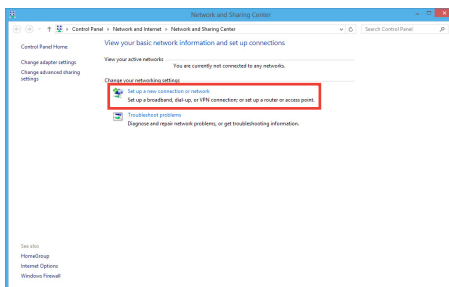


6. 「IPアドレスを自動的に取得する」をクリックし、「OK」をクリックします。

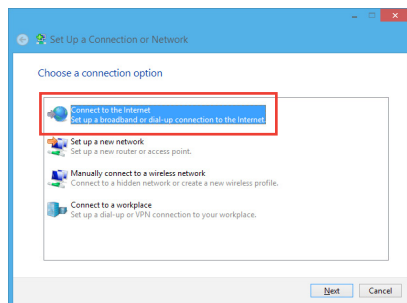


注: PPPoE接続を使用している場合は、次の手順に進みます。

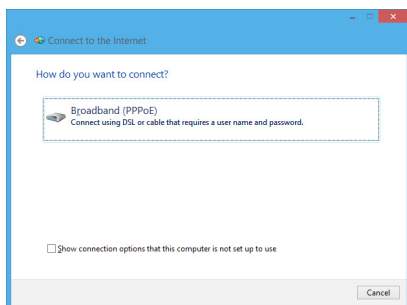
7. 「ネットワークと共有センター」に戻り、「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をタップします。



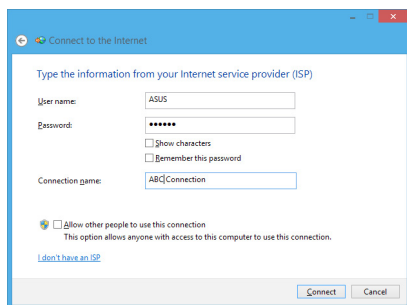
8. 「インターネットに接続します」を選択し、「次へ」をクリックします。



9. 「ブロードバンド(PPPoE)」を選択し、「次へ」をクリックします。



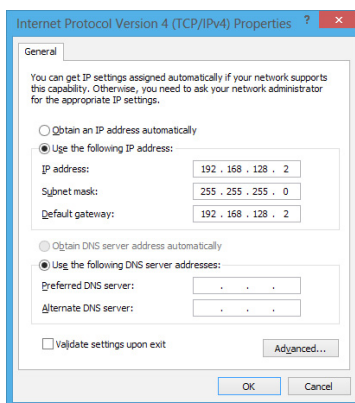
10. ユーザー名、パスワード、接続名を入力します。「接続」をクリックします。
11. 接続が成功したら、「閉じる」をクリックし、設定は完了です。
12. タスクバーのネットワークアイコンをクリックし、設定した接続をクリックします。
13. ユーザー名とパスワードを入力します。「接続」をクリックしてインターネットに接続します。



静的IP (スタティックIP) ネットワーク接続の設定

手順

1. 静的IPを使用する場合も、「**動的IP (ダイナミックIP) ネットワーク接続の設定**」の手順1~4まで同様の設定を行います。
2. 「**次のIPアドレスを使う**」を選択します。
3. 「**IP アドレス**」、「**サブネットマスク**」、「**デフォルトゲートウェイ**」の欄を入力します。
4. 必要に応じて「**優先 DNS サーバー**」の欄にアドレスを入力します。
5. 設定が終了したら、「**OK**」をクリックします。



ワイヤレス接続


コンピューターをワイヤレス環境でインターネットに接続します。

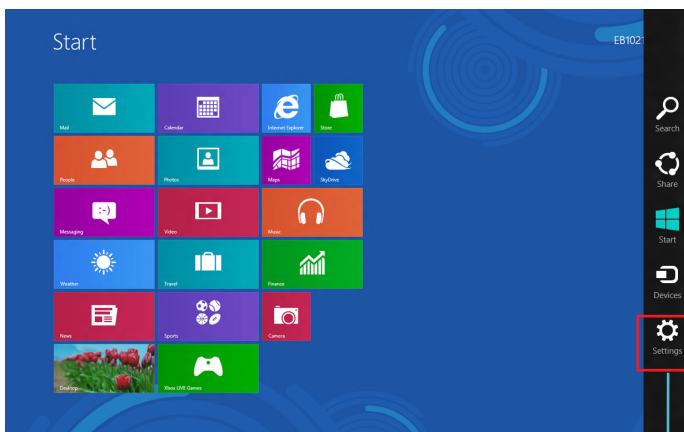
注: ワイヤレス接続の構築には、ワイヤレスアクセスポイント (AP) に接続する必要があります。

注:


- ワイヤレス信号の受信感度を上げ、受信範囲を広げるため、外付けアンテナをASUS WLANカードのアンテナコネクタに接続します。
 - アンテナをコンピューターのケース上に設置することをお勧めします。
 - 外付けアンテナはオプションです。
-

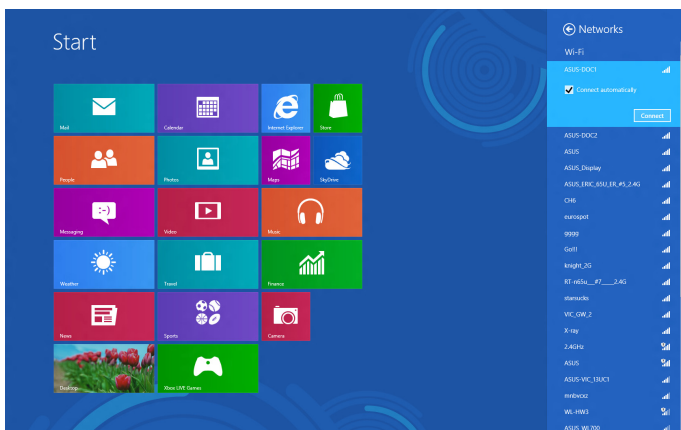
Wi-Fi ネットワークに接続する

1. 次のいずれかの方法でスタート画面またはアプリ画面からチャムバーを起動します。
 - a) マウスのポインターを画面右上または右下に移動します。
 - b) キーボードで  + <c>を押します。



チャムバー

3. チャムバーの「設定」を選択し、ネットワークアイコン  をクリックします。
4. リストから接続する無線ネットワークを選択します。
5. 「接続」をクリックします。



5

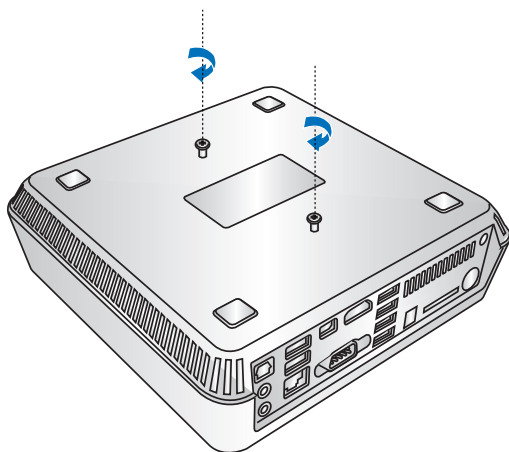
VivoPCをマウント設置する

VivoPCをVESAマウント対応デバイスに取り付ける

本製品にはVESAマウントプレートが付属しており、本機をVESAマウント対応デバイスに取り付けることができます。

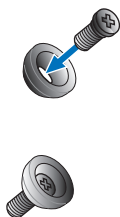
手順

1. 本機を水平で安定した場所に置きます。
2. 付属の12mmネジ(×2)を本機の底面のネジ穴に入れます。

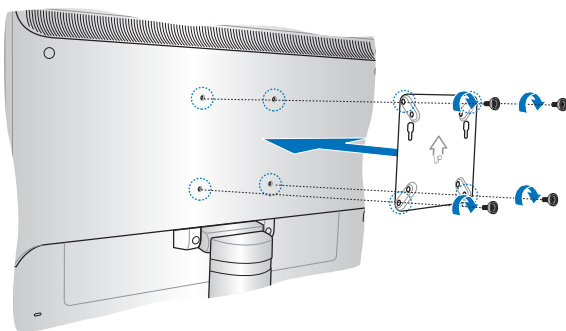


警告: 本体損傷の原因となる恐れがありますので、ネジを締めすぎないようにしてください。

3. 8mmネジ(×4)をラバーヘッド(×4)に挿入します。

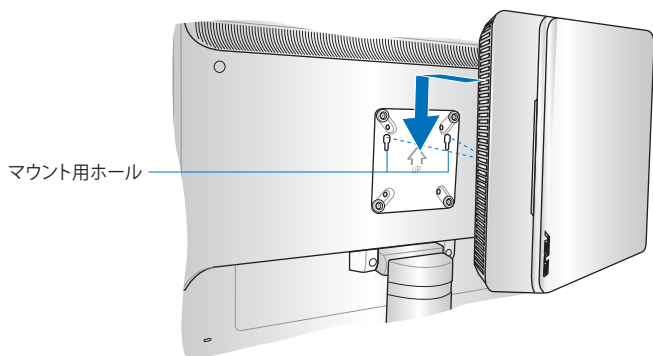


4. 必要に応じ、VESAマウント対応デバイスのバックパネルのネジ穴カバーを取り外します。
5. VESAマウントプレート上の矢印が上方向を向くよう、ネジ穴とVESA対応デバイスのネジ穴の位置を合わせます。
6. ラバーヘッド付きネジでVESAマウント用プレートをVESAマウント対応デバイスに固定します。



警告: VESAマウント対応デバイスの損傷の原因となる恐れがありますので、ネジを締めすぎないようにしてください。

7. 本機に挿入したネジをVESAマウントプレートのマウント用ホールに挿入し、本機をやさしく下方方向に押し、所定の位置に固定します。



トラブルシューティング

5

システムをリカバリーする

PCのリフレッシュ

Windows® 8の新たな機能で、PCの動作が不安定なとき等に、お客様のデータや設定を削除せずに短時間でシステムのリフレッシュを試みることができます。

重要:

- 個人用ファイルとパーソナル設定は変わりません。
 - PCの設定は初期状態に戻ります。
 - Windows® ストアーからインストールしたアプリは残ります。
 - ディスクまたはWebサイトからインストールしたアプリは削除されます。
 - 削除されたアプリの一覧はデスクトップに保存されます。
-

手順

1. スタート画面上でチャームバーを起動し、「設定」→「**PC設定の変更**」の順にクリックします。
2. 「**全般**」をクリックし、画面右側のメニューを一番下までスクロールします。
3. 「**PCをリフレッシュする**」の下にある「**開始する**」をクリックします。
4. 確認画面で「**次へ**」をクリックすると、「**お待ちください**」の画面が出現します。
5. 「**PCをリフレッシュする準備が出来ました**」の画面で「**リフレッシュ**」をクリックします。
6. 「**再起動しています**」の画面の後にPCが再起動されリフレッシュが開始されます。
7. Windows® のセットアップと異なり、アカウント等の設定入力は求められずにリフレッシュが完了します。

PCのリセット

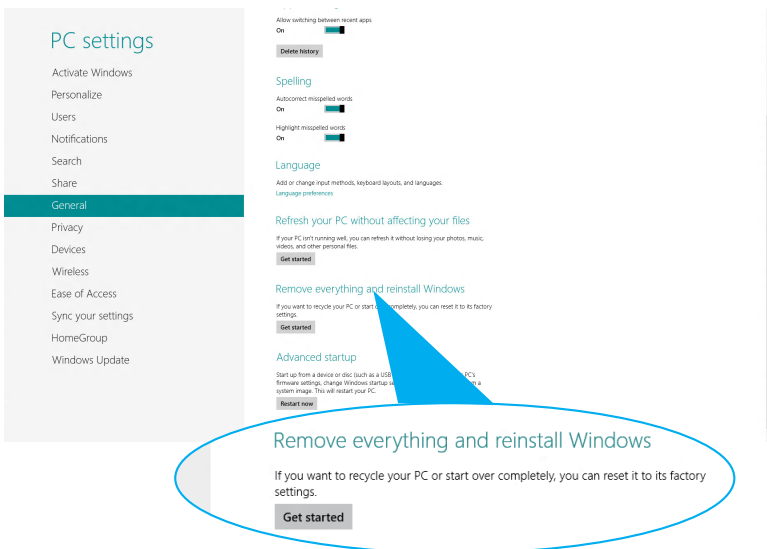
「PCを初期状態に戻す」オプションでPCを工場出荷時の設定に戻すことができます。

重要:リカバリーを行うと、データは全て削除されます。実行する前にデータのバックアップを実施してください。

Windows® 8の標準機能でリカバリーを実施する

手順

1. スタート画面上でチャームバーを起動し、「設定」→「PC設定の変更」の順にクリックします。
2. 「全般」をクリックし、画面右側のメニューを一番下までスクロールします。
3. 「すべてを削除してWindowsを再インストールする」の下にある「開始する」をクリックします。



4. 確認画面で「次へ」をクリックすると、「お待ちください」の画面が出現します。
5. 「PCに複数のドライブがあります」の画面で「Windows がインストールされているドライブのみ」をクリックします。
6. 「ドライブを完全にクリーンアップしますか？」の画面で「ファイルの削除のみ行う」をクリックします。

注: ドライブを完全にクリーンアップをするを選択した場合、PCの構成によっては作業に半日以上を費やす場合があります。

7. 「PCを初期状態に戻す準備ができました」の画面で「初期状態に戻す」をクリックします。
8. 「再起動しています」の画面の後にPCが再起動されPCを初期状態に戻す作業が開始されます。
9. Windows® の初回セットアップと同様に「ライセンス条項」の同意とアカウント等の設定入力が必要となります。

<F9>キーを利用してリカバリーを開始する

PCでは起動時に<F9>キーを利用した下記の方法でもリカバリーが開始可能です。

手順

1. 起動ロゴが表示されたら、キーボードの「**F9**」を押します。
2. 「**トラブルシューティング**」をクリックします。
3. 「**PCを初期状態に戻す**」を選択します。
4. 「**次へ**」をクリックします。
5. 「**Windows がインストールされているドライブのみ**」を選択します。
6. 「**ファイルの削除のみ行う**」を選択します。
7. 「**初期状態に戻す**」をクリックします。

システムイメージファイルからのリカバリー

USBリカバリードライブを作成し、リカバリーの際に使用することができます。

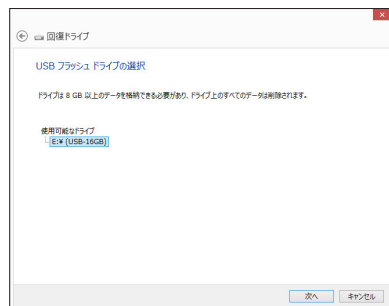
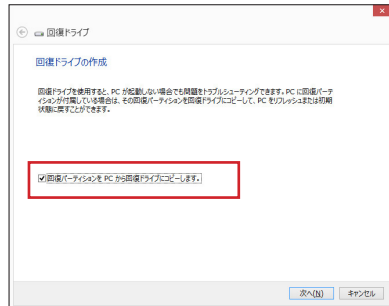
USBリカバリードライブの作成

注:USBリカバリードライブの作成は任意となりますが、万が一のシステムトラブルに備え、PCが正常動作している間にUSBリカバリードライブを作成し、保管することをお勧めいたします。

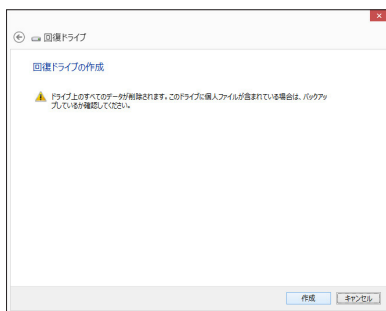
警告:リカバリードライブの作成を実施すると、USBストレージデバイス内のファイルは全て削除されます。リカバリードライブ作成の前に、重要なデータのバックアップを実施してください。

手順

1. すべてのアプリ画面からコントロールパネルを開きます。
2. コントロールパネルのシステムセキュリティで、「**問題の発見と解決**」をクリックします。
3. 「回復」→「**回復ドライブの作成**」の順にクリックし、「**回復パーティションをPCから回復ドライブにコピーします。**」にチェックが入っていることを確認します。
4. 「**次へ**」をクリックします。
5. リカバリーファイルを保存するUSBストレージデバイスを選択します。
6. 「**次へ**」をクリックします。



7. 「**作成**」をクリックします。作業完了まで暫く時間がかかります。
8. 作業が完了したら「**完了**」をクリックします。



作成したリカバリードライブを利用してWindows®を工場出荷時の状態に戻す

注: 下記の手順は内蔵HDDにパーティションが存在しない場合を想定しています。

手順

1. Windows® 8上で作成したリカバリードライブをUSBポートに装着します。
2. PCの電源を投入後、POST中に<F8>キーを押し、ブートデバイスの選択画面を表示します。
3. ブートデバイスの選択画面に表示されているリカバリードライブを選択します。
(この画面はキーボードのみ操作可能)
4. 「キーボードのレイアウトの選択」が表示されたら、ご利用のキーボードタイプを選択します。(日本語キーボードでは「Microsoft IME」を選択)
5. 「トラブルシューティング」を選択してクリックします。
6. 「PCを初期状態に戻す」を選択してクリックします。
7. 「次へ」をクリックします。
8. 「はい、ドライブのパーティション分割をやり直します」を選択します。
9. 「ファイルの削除のみを行う」を選択します。

注: 「ドライブを完全にクリーンアップをする」を選択した場合、PCの構成によっては作業に半日以上を費やす場合があります。

10. 「初期状態に戻す」をクリックするとリカバリー作業が開始されます。

付録

安全上の注意

大切なデータを守り、安全に快適にご使用いただくためのヒントを記載しました。本製品の使用方法に関する記載と併せてお読みください。

システムをセットアップする

- 本機を使用する前に、本マニュアルに記載の説明及び指示をすべて読み、それに従ってください。
- 湿気のある場所および熱を発生する熱源のそばで本機を使用しないでください。
- 設置する際は安定した水平面に設置してください。
- ケースの開口部は通気孔です。紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔を塞がないようにしてください。設置の際は、本体と壁などの間にスペースを空けて設置してください。また、通気孔に物を入れる等の行為はお止めください。
- 本機は5°～35°Cの周辺温度でご使用ください。
- 延長コードを使用する際は、接続したすべてのデバイスの定格電流の総量が、延長コードの定格電流を超過しないようにしてください。

使用中のお手入れ

- 電源コードを踏まないでください。また、物を乗せないでください。
- 液体・雨・湿気を避けてください。
- ノートパソコンのお手入れの際は、電源を切りACアダプターを取り外してください。
- 以下のような技術的な問題が発生した場合は電源コードを抜き、公認の販売代理店あるいはコールセンターにご相談ください。
 - 電源コード/プラグが破損している。
 - 本機内部に液体が入った。
 - 本マニュアルの指示通りに操作してもシステムが正常に動作しない。
 - 本機が落下した、またはキャビネットが破損した。
 - システムのパフォーマンスに異変が生じた。

リチウムバッテリーに付いての警告

警告: バッテリーの交換は正しく行わないと破裂の原因となります。バッテリーは製造元が指定するもの、またはそれに相当するものをご使用ください。バッテリー廃棄の際は、製造元の指示に従ってください。

分解禁止

**お客様が本機を分解した場合は、
保証の対象外となります。**



本機やバッテリー（該当する場合）を一般廃棄物として廃棄しないでください。本製品のコンポーネントの中にはリサイクルできるよう設計されているものがあります。なお、本製品は水銀ボタン電池を含む電子機器です。本製品を一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

ご注意

REACH (原文)

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorization, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we publish the chemical substances in our products at ASUS REACH website at <http://csr.asus.com/english/REACH.htm>

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートパソコン等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉碎され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

筐体のコーティングについて

重要: 感電などを防ぐため、本機は絶縁処理が施されている筐体を使用しています(入出力ポート搭載部分を除く)。

Federal Communications Commission Statement (原文)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference, and
- This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to

radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

CAUTION: Any changes or modifications not expressly approved by the grantee of this device could void the user's authority to operate the equipment.

RF exposure warning (原文)

This equipment must be installed and operated in accordance with provided instructions and the antenna(s) used for this transmitter must be installed to provide a separation distance of at least 20 cm from all persons and must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter. End-users and installers must be provide with antenna installation instructions and transmitter operating conditions for satisfying RF exposure compliance.

Declaration of Conformity (R&TTE directive 1999/5/EC)

The following items were completed and are considered relevant and sufficient:

- Essential requirements as in [Article 3]
- Protection requirements for health and safety as in [Article 3.1a]
- Testing for electric safety according to [EN 60950]
- Protection requirements for electromagnetic compatibility in [Article 3.1b]
- Testing for electromagnetic compatibility according to [EN 301 489-1] & [EN 301 489-17]
- Effective use of the radio spectrum as in [Article 3.2]
- Radio test suites according to [EN 300 328-2]

France Restricted Wireless Frequency Bands

Some areas of France have a restricted frequency band. The worst case maximum authorized power indoors are:

- 10mW for the entire 2.4 GHz band (2400 MHz–2483.5 MHz)
- 100mW for frequencies between 2446.5 MHz and 2483.5 MHz

NOTE: Channels 10 through 13 inclusive operate in the band 2446.6 MHz to 2483.5 MHz.

There are few possibilities for outdoor use: On private property or on the private property of public persons, use is subject to a preliminary authorization procedure by the Ministry of Defense, with maximum authorized power of 100mW in the 2446.5–2483.5 MHz band. Use outdoors on public property is not permitted.

In the departments listed below, for the entire 2.4 GHz band:

- Maximum authorized power indoors is 100mW
- Maximum authorized power outdoors is 10mW

Departments in which the use of the 2400–2483.5 MHz band is permitted with an EIRP of less than 100mW indoors and less than 10mW outdoors:

01	Ain	02	Aisne	03	Allier
05	Hautes Alpes	08	Ardennes	09	Ariège
11	Aude	12	Aveyron	16	Charente
24	Dordogne	25	Doubs	26	Drôme
32	Gers	36	Indre	37	Indre et Loire
41	Loir et Cher	45	Loiret	50	Manche
55	Meuse	58	Nièvre	59	Nord
60	Oise	61	Orne	63	Puy du Dôme
64	Pyrénées Atlantique	66	Pyrénées Orientales	67	Bas Rhin
70	Haute Saône	71	Saône et Loire	75	Paris
82	Tarn et Garonne	84	Vaucluse	88	Vosges
89	Yonne	90	Territoire de Belfort	94	Val de Marne

This requirement is likely to change over time, allowing you to use your wireless LAN card in more areas within France. Please check with ART for the latest information (www.art-telecom.fr)

NOTE: Your WLAN Card transmits less than 100mW, but more than 10mW.

Canadian Department of Communications Statement

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

IC Radiation Exposure Statement for Canada

This equipment complies with IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with IC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.

Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause interference and
- This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

CE Mark Warning



CE marking for devices without wireless LAN/Bluetooth

The shipped version of this device complies with the requirements of the EEC directives 2004/108/EC "Electromagnetic compatibility" and 2006/95/EC "Low Voltage directive".



CE marking for devices with wireless LAN/ Bluetooth

This equipment complies with the requirements of Directive 1999/5/EC of the European Parliament and Commission from 9 March, 1999 governing Radio and Telecommunications Equipment and mutual recognition of conformity.

Wireless Operation Channel for Different Domains

N. America	2.412-2.462 GHz	Ch01 through CH11
Japan	2.412-2.484 GHz	Ch01 through Ch14
Europe ETSI	2.412-2.472 GHz	Ch01 through Ch13

ENERGY STAR **complied product**



ENERGY STAR is a joint program of the U.S. Environmental Protection Agency and the U.S. Department of Energy helping us all save money and protect the environment through energy efficient products and practices.

All ASUS products with the ENERGY STAR logo comply with the ENERGY STAR standard, and the power management feature is enabled by default. The monitor and computer are automatically set to sleep after 15 and 30 minutes of user inactivity. To wake your computer, click the mouse or press any key on the keyboard.

Please visit <http://www.energy.gov/powermanagement> for detail information on power management and its benefits to the environment. In addition, please visit <http://www.energystar.gov> for detail information on the ENERGY STAR joint program.

NOTE: Energy Star is NOT supported on FreeDOS and Linux-based products.

ASUSコンタクトインフォメーション

ASUSTeK COMPUTER INC.

住所 15 Li-Te Road, Peitou, Taipei, Taiwan 11259
電話 (代表) +886-2-2894-3447
ファックス (代表) +886-2-2890-7798
電子メール (代表) info@asus.com.tw
Webサイト www.asus.com.tw

テクニカルサポート

電話 +86-21-38429911
オンラインサポート support.asus.com

ASUS COMPUTER INTERNATIONAL (アメリカ)

住所 800 Corporate Way, Fremont, CA 94539, USA
電話 +1-510-739-3777
ファックス +1-510-608-4555
Webサイト usa.asus.com

テクニカルサポート

電話 +1-812-282-2787
サポートファックス +1-812-284-0883
オンラインサポート support.asus.com

ASUS COMPUTER GmbH (ドイツ/オーストリア)

住所 Harkort Str. 21-23, D-40880 Ratingen, Germany
ファックス +49-2102-959911
Webサイト www.asus.de
オンラインコンタクト www.asus.de/sales

テクニカルサポート

電話 (コンポーネント) +49-1805-010923*
電話 (システム/ノートパソコン/Eee/LCD) +49-1805-010920*
サポートファックス +49-2102-9599-11
オンラインサポート support.asus.com

* ドイツ国内の固定電話からは0.14ユーロ/分、携帯電話からは0.42ユーロ/分の通話料がかかります。

Manufacturer	ASUSTeK Computer Inc.	
	Tel:	+886-2-2894-3447
	Address:	No. 150, LI-TE RD., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN R.O.C
Authorised representative in Europe	ASUSTeK Computer GmbH	
	Address:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN, GERMANY

DECLARATION OF CONFORMITY

Per FCC Part 2 Section 2. 1077(a)



Responsible Party Name: Asus Computer International

Address: 800 Corporate Way, Fremont, CA 94539.

Phone/Fax No: (510)739-3777/(510)608-4555

hereby declares that the product

Product Name : VivoPC

Model Number : VC60,VC60V

Conforms to the following specifications:

FCC Part 15, Subpart B, Unintentional Radiators

Supplementary Information:

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Representative Person's Name : Steve Chang / President

A handwritten signature in blue ink that reads "Steve Chang".

Signature :

Date : Aug. 23, 2013

Ver. 120601

EC Declaration of Conformity



We, the undersigned,

Manufacturer:	ASUSTeK COMPUTER INC.
Address, City:	4F, No. 150, LI-TE Rd., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
Country:	TAIWAN
Authorized representative in Europe:	ASUS COMPUTER GmbH
Address, City:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN
Country:	GERMANY

declare the following apparatus:

Product name :	VivoPC
Model name :	VC60,VC60V

conform with the essential requirements of the following directives:

2004/108/EC-EMC Directive

<input checked="" type="checkbox"/> EN 55022:2010+AC:2011	<input checked="" type="checkbox"/> EN 55024:2010
<input checked="" type="checkbox"/> EN 61000-3-2:2006+A2:2009	<input checked="" type="checkbox"/> EN 61000-3-3:2008
<input type="checkbox"/> EN 55013:2001+A1:2003+A2:2006	<input type="checkbox"/> EN 55020:2007+A11:2011

1999/5/EC-R & TTE Directive

<input checked="" type="checkbox"/> EN 300 328 V1.7.1(2006-10)	<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 489-1 V1.9.2(2011-09)
<input type="checkbox"/> EN 300 440-1 V1.6.1(2010-08)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-3 V1.4.1(2002-08)
<input type="checkbox"/> EN 300 440-2 V1.4.1(2010-08)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-4 V1.4.1(2009-05)
<input type="checkbox"/> EN 301 511 V9.0.2(2003-03)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-7 V1.3.1(2005-11)
<input type="checkbox"/> EN 301 908-1 V5.2.1(2011-05)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-9 V1.4.1(2007-11)
<input type="checkbox"/> EN 301 908-2 V5.2.1(2011-07)	<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 489-17 V2.2.1(2012-09)
<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 893 V1.6.1(2011-11)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-24 V1.5.1(2010-09)
<input type="checkbox"/> EN 302 544-2 V1.1.1(2009-01)	<input type="checkbox"/> EN 302 326-2 V1.2.2(2007-06)
<input type="checkbox"/> EN 302 623 V1.1.1(2009-01)	<input type="checkbox"/> EN 302 326-3 V1.3.1(2007-09)
<input type="checkbox"/> EN 50360:2001	<input type="checkbox"/> EN 301 357-2 V1.4.1(2008-11)
<input type="checkbox"/> EN 62479:2010	<input type="checkbox"/> EN 302 291-1 V1.1.1(2005-07)
<input type="checkbox"/> EN 50385:2002	<input type="checkbox"/> EN 302 291-2 V1.1.1(2005-07)
<input type="checkbox"/> EN 62311:2008	

2006/95/EC-LVD Directive

<input checked="" type="checkbox"/> EN 60950-1 / A12:2011	<input type="checkbox"/> EN 60065:2002 / A12:2011
---	---

2009/125/EC-ErP Directive

<input checked="" type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 1275/2008	<input checked="" type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 278/2009
<input type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 642/2009	<input checked="" type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 617/2013

2011/65/EU-RoHS Directive

Ver. 130816

CE marking



(EC conformity marking)

Position : **CEO**
 Name : **Jerry Shen**

Declaration Date: 23/08/2013
Year to begin affixing CE marking:2013

Signature : _____